

黒田みちのたんぽぽだより NO196 (2018・議会特集号)

12月議会 いったい何が決まっていくのでしょうか？

委員会	議案内容 (数字は議案番号) ○賛成 ●反対 ※委員長	会派 (議員名・敬称略)					
		市民クラブ “改革の風”	明日のかわにし	川西まほろば会	公明党	共産党 議員団	無所属
総務生活常任委員会	55、町の区域変更	岡○山下○	多久和※	磯部○秋田○	大崎○	北野○	吉富○
	56、知明湖キャンプ場の指定管理	岡○山下○	多久和※	磯部○秋田○	大崎○	北野○	吉富○
	57、芸術・文化施設、運動公園の指定管理	岡○山下○	多久和※	磯部○秋田○	大崎○	北野○	吉富○
	60、副市長を1名体制に	岡○山下○	多久和※	磯部○秋田○	大崎○	北野○	吉富○
	61、市長など特別職の給料削減	岡○山下○	多久和※	磯部○秋田○	大崎○	北野○	吉富○
	62、寄付金控除・市税条例改定	岡○山下○	多久和※	磯部○秋田○	大崎○	北野○	吉富○
	66、災害復旧など補正予算	岡○山下○	多久和※	磯部○秋田○	大崎○	北野○	吉富○
	69、農業共済事業補正予算	岡○山下○	多久和※	磯部○秋田○	大崎○	北野○	吉富○
厚生文教常任委員会	58、川西こども園工事請負契約	津田○中井○	小山○田中○	西山○	平岡※麻田○	吉岡○	中曾○
	63、福祉医療費・みなし寡婦控除	津田○中井○	小山○田中○	西山○	平岡※麻田○	吉岡○	中曾○
	64、認定こども園・預かり保育料	津田○中井○	小山○田中○	西山○	平岡※麻田○	吉岡○	中曾○
	66、人事異動などの補正予算	津田○中井○	小山○田中○	西山○	平岡※麻田○	吉岡○	中曾○
	67、国民健康保険事業補正予算	津田○中井○	小山○田中○	西山○	平岡※麻田○	吉岡○	中曾○
	68、後期高齢者医療事業補正予算	津田○中井○	小山○田中○	西山○	平岡※麻田○	吉岡○	中曾○
	70、介護保険事業補正予算	津田○中井○	小山○田中○	西山○	平岡※麻田○	吉岡○	中曾○
	請願「75歳以上の医療費据え置きを」	継続	継続	継続	継続	吉岡○	継続
(75歳以上の後期高齢者の窓口負担原則1割の継続を求める意見書を国に提出してほしい旨の請願・兵庫県保険医協会							
建設企画常任委員会	59、花屋敷団地建替え・PFI契約	福西○谷○	斯波※坂口○	久保○松隈○	江見・大矢根○	黒田○	—
	65、川西病院職員の定数削減(解雇)など	福西○谷○	斯波※坂口○	久保○松隈○	江見・大矢根○	黒田●	—
	66、人事異動などの補正予算	福西○谷○	斯波※坂口○	久保○松隈○	江見・大矢根○	黒田○	—
	71、中央北地区事業補正予算	福西○谷○	斯波※坂口○	久保○松隈○	江見・大矢根○	黒田○	—
	72、水道事業・債務負担行為など	福西○谷○	斯波※坂口○	久保○松隈○	江見・大矢根○	黒田○	—
	73、下水道事業・債務負担行為など	福西○谷○	斯波※坂口○	久保○松隈○	江見・大矢根○	黒田○	—
	* 26議員は、3常任委員会のいずれかに所属。常任委員会委員長は採決に参加しません(本会議の議長も同じ)						
	* 12月25日(金) 26議員が全ての議案・請願に対して賛否を明らかにします。後日お知らせします。						

病院企業職員 281人・定数条例改定などの議案に反対！

病院職員の半数が入れ替わる「指定管理者制度」移行

議案第65号～2019年4月1日から、現市立川西病院の管理・運営を協和会が行うことに伴い、関係条例の整備が行われる議案のため私(黒田)は明確に反対の立場を取りました。

病院企業職員(医師・看護師・医療技術者)281名(定数)が解雇。協和会職員へ移行することになります。公務員でなくことから職員の意向調査の結果・・・

* 医師は大学医局の動向を確認中(27人)

* 看護保健職 193人(協和会へ99人、市役所へ39人、退職49人、保留6人)

* 医療技術職 39人(協和会へ21人、市役所へ9人、退職8人、保留1人)

今の段階で、現川西病院に4月残るのは、約半数。事務職11人は市役所へ引上げとなります。約60人の職員が市役所へ異動することになるため、新規職員の採用が行われないだけでなく、一番弱い立場の臨職・アルバイトさんが雇い留めにな

ります。(臨職さんへの手立ては何ら考慮されていません)

4月1日27人の正規医師・8人の嘱託医師を確保するとしていますが本当に確保できるのでしょうか。また、職員の退職に伴う退職金は、退職手当組合に積立を行っていますので通常分は問題がありませんが、指定管理者制度導入のための分限免職ですから、今の段階で約5億円を何らかの形で税金投入することになります。また、協和会へ移行する職員の給料差額を3年間補償する約10億円も別途税金が使われる予定です。

指定管理者がキチンと事業実施を行っているかをチェックする「市立川西病院経営評価委員会」は公開されるとのことですですが、未だに詳細が決まっていません。

市民と職員に大混乱を持ち込んでいる「指定管理者制度」導入、未だパブコメ結果が明らかではないものの北部での入院・手術ができる二次救急病院廃止はキッパリ止めるべきことを強く訴えました。財政運営を悪くした管理職は責任を取らず、税金投入で解決させるあり方を強く批判すると共に、看護師さん達専門職は事務職ではなく、保育所など必要としている職場への配置を考えることなども併せて追及しました。(25日最終本会議場で反対討論を行います)